

病 院 増 床 事 前 協 議 書

(春日野会病院)

病院増床事前協議書

1. 開設者に関する事項

(開設者が医師である場合)

氏 名		医 籍 番 号		
住 所	TEL			
開設者が現に病院若しくは診療所を開設管理若しくは勤務している場合には当該医療機関の概要	区 分	開 設 ・ 管 理 ・ 勤 務		
	施設の種類	病 院 ・ 診 療 所	病 床 数	一 般 療 養 精 神 結 核 床
	名 称			
	所 在 地			
	診 療 科 目			

(開設者が法人である場合)

主たる事務所の所在地	神戸市中央区野崎通 4 丁目 1 番 2 号 TEL078-221-6221				
代 表 者	氏名	吉田 泰昭	住所		
法人の目的、事業	病院及び診療所並びに介護老人保健施設を経営し、科学的でかつ適正な医療及び疾病及び傷病により寝たきりの状態にある老人に対し、看護、医学的管理下の介護及び必要な医療等を普及することを目的とする。				
法人が現に、病院若しくは診療所を開設している場合には、当該医療機関の概要	施設の種類	名 称	所 在 地	病床数	備 考
	病院	春日野会病院	神戸市中央区野崎通 4 丁目 1 番 2 号	54	
診療所	サンスマイル診療所	兵庫県加東市北野 55 番地 1	0		
自己資本比率 (医療法人の場合)	14.4%				

2. 増床の内容に関する事項

(1) 基本的事項

名 称		春日野会病院	
開 設 の 場 所		神戸市中央区野崎通4丁目1番2号	
増 改 築 予 定 年 月		平成30年4月	
診 療 科 目	旧	内科、糖尿病内科、消化器内科、整形外科、リハビリテーション科	
	新	内科、糖尿病内科、消化器内科、整形外科、リハビリテーション科	
病 床 数	旧	54床 (一般54床・療養 床・精神 床・結核 床)	
		病床機能区分 (医療法施行規則第30条の33の2) による分類 (高度急性期 床、急性期 21床、回復期 33床、慢性期 床)	
	新	60床 (一般 60床・療養 床・精神 床・結核 床)	
		病床機能区分 (医療法施行規則第30条の33の2) による分類 (高度急性期 床、急性期 21床、回復期 39床、慢性期 床)	
病床の利用内容 (看護単位ごとに)	旧	16室 54床 利用率 98%	室 床 利用率 %
		室 床 利用率 %	室 床 利用率 %
	新	29室 60床 利用率 95%	室 床 利用率 %
		室 床 利用率 %	室 床 利用率 %
増床の理由及び 病床数設定の考え方 ・提供する医療の内容 ・当該地域の医療事情 ・近隣医療機関との連携等		基準看護又は新看護の内容	10対1
		規則第30条の32第1項の規定による特例	有 (号 床) ・ 無
		<ul style="list-style-type: none"> 一般病床と地域包括ケア病床を活用して在宅復帰支援 急性期大病院が多数あり、急性期治療後の受入れ病院が必要 医師、地域医療連携室間の連携 	
敷 地 の 状 況 (増築する場合)	面 積	1,946.95 m ²	
	自己所有予定 の 場 合	取得の状況	取得済 ・ 取得交渉中 ・ 未交渉
		交渉状況	
	自己所有予定 でない場合	所有者	
		使用形態	賃貸借 ・ その他 ()
他法令解除 の 必 要 性	有 ・ 無 内容 ()		
建 物 の 状 況 (増築する場合)	構 造 概 要	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 4階建 延床面積 4258.39 m ²	
	所有予定者	医療法人財団春日野会	
	自己所有予定 でない場合の 使 用 形 態	賃貸借 ・ その他 ()	

(2) 施設及び設備に関する事項

増改築内容

棟・階	変更前		変更後		備考 (設備等)
	用途	面積	用途	面積	
西館B1階	医師当直室	10.43㎡	清掃員詰所	11.24㎡	
↓	仮眠室	8.37㎡			取壊し
南館B1階	備蓄倉庫	34.91㎡	倉庫	30.66㎡	
			ポンプ・機械室	12.58㎡	新築
	エレベーターホール	15.66㎡	エレベーターホール	17.84㎡	
			駐車場	188.55㎡	新築
			駐輪場	26.20㎡	新築
西館1階	リハビリテーション室	39.85㎡			取壊し
↓			リハビリテーション室	36.33㎡	新築
南館1階			OT室	4.46㎡	新築
	スタッフルーム	16.49㎡	スタッフルーム	28.29㎡	
			談話室	28.44㎡	新築
			給湯室	2.89㎡	新築
			当直室	11.17㎡	新築
			備蓄倉庫	30.41㎡	新築
			駐車場	150.00㎡	新築
	エレベータホール	12.03㎡	エレベータホール	20.75㎡	
	前室	4.16㎡	エントランスホール	11.88㎡	
西館2階	病室201 (8人)	59.85㎡			取壊し
↓	病室202 (1人)	12.71㎡			取壊し
南館2階			職員食堂	56.00㎡	新築
			売店	42.87㎡	新築
			職員食堂廊下	12.99㎡	新築
			食器洗浄室	19.06㎡	新築
			前室	6.76㎡	新築
			厨房	45.97㎡	新築
			配膳室	18.44㎡	新築
			自販機置場	4.87㎡	新築
			ユニフォーム保管室	7.43㎡	新築

棟・階	変更前		変更後		備考 (設備等)	
	用途	面積	用途	面積		
			栄養管理室	8.44㎡	新築	
			休憩室	8.07㎡	新築	
			職員トイレ	1.89㎡	新築 (休憩室内)	
			食品庫	6.75㎡	新築	
			女子更衣室	39.37㎡	新築	
			洗面	2.58㎡	新築	
			職員トイレ	2.55㎡	新築	
			男子更衣室	12.71㎡	新築	
			女子トイレ	4.75㎡	新築	
			男子トイレ	6.06㎡	新築	
			車椅子トイレ	3.75㎡	新築	
			廊下	28.46㎡	新築 (女子更衣室前)	
		エレベータホール	10.83㎡	エレベータホール	21.30㎡	
			10.83㎡	廊下	10.04㎡	新築
西館3階	病室310 (1人)	13.74㎡			取壊し	
↓			病室310 (1人)	10.56㎡	新築	
南館3階			病室311 (1人)	10.56㎡	新築	
			病室312 (1人)	11.01㎡	新築	
			病室313 (1人)	10.56㎡	新築	
			病室315 (1人)	11.09㎡	新築	
			病室316 (1人)	9.47㎡	新築	
			病室317 (1人)	9.37㎡	新築	
			病室318 (1人)	8.87㎡	新築	
			病室320 (1人)	8.87㎡	新築	
			病室321 (2人)	20.02㎡	新築	
			トイレ	2.17㎡	新築 (病室316内)	
			トイレ	2.17㎡	新築 (病室317内)	
			スタッフルーム	30.82㎡	新築	
			車椅子トイレ	4.10㎡	新築	
			倉庫	5.38㎡	新築	
			トイレ	3.00㎡	新築 (エレベーター前)	

棟・階	変更前		変更後		備考 (設備等)
	用途	面積	用途	面積	
			廊下	39.12㎡	新築
			公衆電話	1.69㎡	新築
	エレベータホール	19.28㎡	エレベータホール	11.96㎡	
	廊下	21.01㎡	廊下	24.48㎡	渡り廊下側
西館4階	職員休憩室	45.86㎡			取壊し
↓	トイレ	4.68㎡			取壊し
南館4階			病室408 (1人)	10.23㎡	新築
			病室410 (2人)	15.45㎡	新築
			病室411 (1人)	11.01㎡	新築
			病室412 (1人)	11.01㎡	新築
			病室413 (1人)	10.58㎡	新築
			病室415 (1人)	14.19㎡	新築
			トイレ	1.94㎡	新築 (病室411内)
			トイレ	1.94㎡	新築 (病室412内)
			トイレ	1.94㎡	新築 (病室413内)
			トイレ	4.37㎡	新築 (病室415内)
			収納	0.81㎡	新築
			収納	1.12㎡	新築
			給湯室	3.38㎡	新築
			前室	1.92㎡	新築
			トイレ	3.34㎡	新築 (エレベーター前)
		エレベータホール	8.10㎡	新築	
		廊下	54.76㎡	新築	
本館3階	病室301 (3人)	23.92㎡	病室301 (1人)	17.04㎡	3→1人床
北館1階	男子ロッカー室	28.92㎡	空室	28.92㎡	南館へ移設
	女子ロッカー室	9.06㎡	空室	9.06㎡	南館へ移設
北館3階	厨房	28.92㎡	空室	28.92㎡	南館へ移設
	栄養管理室	9.68㎡	空室	9.68㎡	南館へ移設
	栄養管理室倉庫	5.10㎡	空室	5.10㎡	南館へ移設
	清掃員詰所	11.89㎡	空室	11.89㎡	南館へ移設

(3) 人員に関する事項

人 員 配 置 計 画									
職 名	必 要 数		予 定 数	確 保 済 人 員	職 名	必 要 数		予 定 数	確 保 済 人 員
	前	後				前	後		
医 師	5.7	6.8	7.0	6.8	薬 剤 師	2	2	3.6	3.6
看 護 師			27	27	栄 養 士				
准 看 護 師	22	25	3	3	放 射 線 技 師			1.5	1.2
看 護 補 助 者			12	12	調 理 師				
臨 床 (衛 生) 検 査 技 師			2	2	事 務 員			14	14.3
理 学 療 法 士			6	6	そ の 他			11	11.3
作 業 療 法 士			2	2	計			89.1	89.2

(4) 人員算定根拠 (計算式)

- ・ 1日平均入院患者数=60人
- ・ 1日平均外来患者数=130人
- ・ 外来患者に係る取扱処方せんの数=50

○医師 $(60 + (130 \div 2.5) - 52) \div 16 + 3 = 6.75 \div 6.8$

○看護師 $(60 \div 3) + (130 \div 30) = 24.3 \div 25$

○薬剤師 $(60 \div 70) + (50 \div 75) \div 1 + 1 = 2$

(5) 関係者との協議に関する事項

関係者	協議状況
地元医師会	平成 29 年 3 月 21 日神戸市中央区医師会の役員会に出席、説明。審議の上承認を得た。意見書添付。
市保健医療審議会 医療専門分科会	平成 29 年 4 月 27 日、神戸市保健医療審議会医療専門分科会に出席、審議の上承認を得る予定。
その他	

注) 地元医師会、医療専門分科会については、意見書等を添付すること。

増床に関する意見書

春日野会病院

院長 三好 喬 様

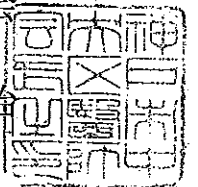
この度、春日野会病院が神戸市より6床の増床整備計画の承認を受けた経緯を説明され、中央区医師会の理事会にて協議させていただきました。

春日野会病院は地域医療を担う病院として、すでに多くの実績をあげられておられます。また訪問診療にも注力されており、今回の増床で今まで以上に地域連携に貢献されますことは大変喜ばしいことです。今後とも近隣の医療機関との連携を密にして地域医療に貢献していただくようお願い致します。

平成29年3月24日

神戸市中央区医師会

会長 林 省 治



新規開設又は増床を行おうとする病院の医療システム構築に関する申立書

病院名	春日野会病院	所在地	神戸市中央区野崎通 4-1-2		
電話番号	078-221-622	二次医療圏域名	神戸医療圏	保健所名	神戸市保健所

1. 病院の特色（提供しようとする医療の内容）

(1) 医療の分野について（対象患者、診療科目等について）

〔 診療科目は内科・糖尿病内科・消化器内科・整形外科・リハビリテーション科であり、入院・外来だけでなく個人宅や高齢者居住のための施設などへの往診も実施している。 〕

(2) 医療の専門性について（設備・医療スタッフ等についても記入すること。）

〔 PT6名、OT2名の体制で外来・入院・訪問リハビリテーションを実施しており、患者様の入院中のADL低下の防止や退院後のADL維持が可能となるような体制を整えている。 〕

2. 当該診療圏域の状況

(1) 対象に考えている診療圏について

二次医療圏域名	区 名
神戸医療圏	中央区・灘区・東灘区

(2) 患者の特色及び医療ニーズについて

〔 急性期病院から退院後、まだリハビリが必要な患者の受け入れや、地域のクリニックから肺炎や脱水等の軽度な入院加療を必要とする患者の受け入れを行っている。 〕

(3) 既存の医療機関について、（特に、提供しようとする医療が同じものについて）

① 病院の状況について

名 称	病床数	診 療 科 目	役割分担等についての方策	備 考
神戸平成病院	95床	呼吸器内科・消化器内科・糖尿病内科・内科・整形外科・耳鼻咽喉科・眼科・外科・放射線科・婦人科・リハビリテーション科	呼吸器系の疾患で治療が必要となった場合に紹介する。	
明芳病院	48床	漢方内科・整形外科・リハビリテーション科・内科	漢方、鍼などの治療が必要となった場合に紹介する。	

② 診療所の状況について

近隣のクリニックからは肺炎・脱水等の内科的疾患や保存的治療の方針とする整形外科的疾患の入院受け入れを行い、治癒・軽快した際にはかかりつけのクリニックに戻す形の連携を行っている。また、CTの共同利用としてCT撮影が必要な患者の受け入れを行っている。

(4) 対象に考えている患者の推定数及び将来予測について

中央区の高齢者及び後期高齢者数は2015年の53000人程度から2025年には63000人と増加傾向にあり、特に当院が位置する中央区の北側は独居の高齢者が多い地域となっている。平地と異なり、傾斜地のため通院ができず、送迎での外来診療や訪問診療が必要となる高齢者は今後ますます増加する傾向と想定している。

2. 医療のシステム化

(1) 取り組みたいこと又は、取り組んでいることについて

近隣の居宅介護事業所やあんしんすこやかセンターと協力し、入院された患者が退院後も入院前と同じ生活が可能になるよう、当院にて入院中から退院後の生活を見据えたリハビリを行い、退院前に関係者とカンファレンスを実施している。退院後も訪問診療、訪問リハビリテーションを提供し、患者のADLの維持に努めている。

今後は中央市民病院や神戸赤十字病院に外来通院されている患者などで、当院の近くに居住されている患者についてはかかりつけとして当院での外来・訪問診療でケアを行い、定期的な輸血が必要な患者の往診及び入院での輸血を当院で行うなど、中央市民病院や神戸赤十字病院が急性期医療の必要な患者に注力できる仕組みづくりを実施していきたいと考えている。

(2) 医療機関との連携

医療機関名	内容	具体例	医療機関名	内容	具体例
神鋼記念病院	①③	・重症患者の転送 ・在宅、リハビリ患者の受け入れ	神戸赤十字病院	①	・在宅、リハビリ患者の受け入れ
中央市民病院	①③	・重症患者の転送 ・在宅、リハビリ患者の受け入れ	HAT 神戸つじ内科	①⑦	・CTの共同利用 ・入院患者の紹介
神戸労災病院		・重症患者の転送 ・在宅、リハビリ患者の受け入れ			
神戸平成病院	⑦	・MRIの利用			
平川医院	①	・入院患者の紹介			

〈注〉内容には、次のうちから該当するものの番号を記入すること。

- ①患者の紹介 ②連絡会の開催 ③後方病院、三次医療を受けもつ病院等への搬送
④共同症例検討会等の開催 ⑤検査の受託と委託 ⑥心電図の解折等診療情報の援助
⑦高額医療機器の利用 ⑧オープン病院的な運営 ⑨その他

(3) 医療機関以外との連携

機 関 名	連 携 の 内 容	備 考
プリエール	職員・入居者の健康診断、入院の受け入れ	老人保健施設
サンスマイル北野	職員・入居者の健康診断、入院の受け入れ	老人保健施設

〈注〉医療機関以外としては、社会福祉事務所、老人保健施設、社会福祉施設
(老人関係、精神関係、身障関係)等が考えられる。

(4) 地域保健医療活動等への参加 (住民の健康管理等)

- [院長による地域の老人会での講演活動、神戸市医師会が開催する在宅連携協議会への参加
地域主体の連絡協議会への参加]

4. その他の特記事項

- []

開設に要する資金

資金計画

(単位:千円)

項 目	所 要 額	自己資金	借 入 金			備 考
土地購入費	0	0	0	0	0	
設計管理費	40,000	0	40,000	0	0	
建物建設費	200,000	0	200,000	0	0	
医療機器購入費	10,000	10,000	0	0	0	
什器備品購入費	10,000	10,000	0	0	0	
保証金	0	0	0	0	0	
諸税	3,000	3,000	0	0	0	
開設時運転資金	100,000	100,000	0	0	0	
その他費用	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	
計	363,000	123,000	240,000	0	0	

返済計画

金融機関名	返済条件				初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
	据置期間	償還回数 年×年	利率 %		H29年4月 ~H30年3月	H30年4月 ~H31年3月	H31年4月 ~H32年3月	H32年4月 ~H33年3月	H33年4月 ~H34年3月
播州信用金庫	0	年1回×20 年	1.975	元本	3,000	12,000	12,000	12,000	12,000
				利息	1,180	4,572	4,335	4,098	3,861
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
合 計				元本					
				利息					
年度末借入金残額					237,000	225,000	213,000	201,000	189,000

損益的収支予算書 (総括)

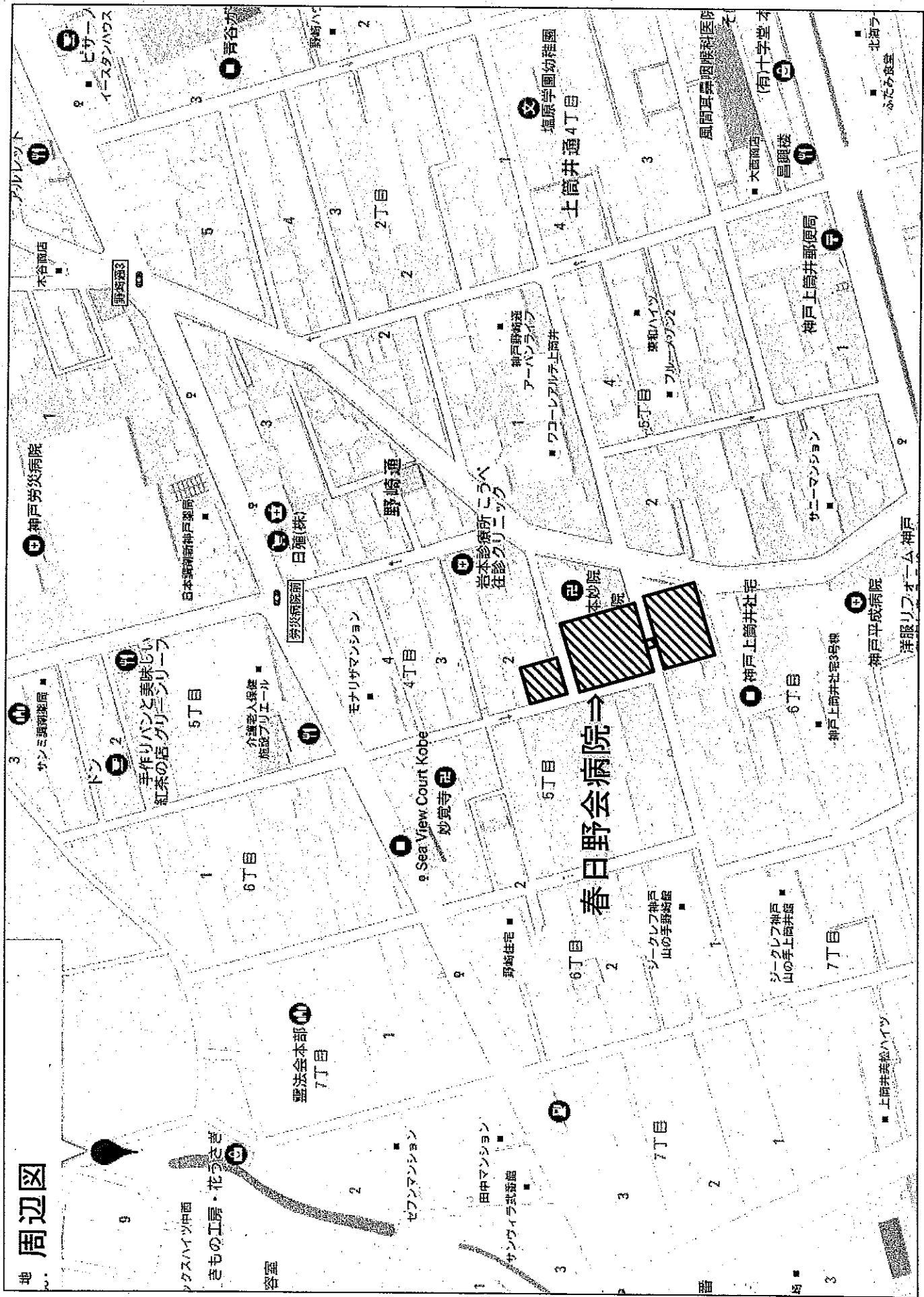
(単位：千円)

	初年度 H29年4月 ~H30年3月	次年度 H30年4月 ~H31年3月	3年度 H31年4月 ~H32年3月	4年度 H32年4月 ~H33年3月	5年度 H33年4月 ~H34年3月
I 医業収益	1,425,000	1,450,000	1,450,000	1,450,000	1,450,000
II 医業費用	1,300,000	1,320,000	1,320,000	1,320,000	1,320,000
医業利益(医業損失)	125,000	130,000	130,000	130,000	130,000
III 医業外収益	10,000	24,000	24,000	24,000	24,000
IV 医業外費用	35,000	58,000	55,700	53,700	52,000
經常利益(經常損失)	100,000	96,000	98,300	100,300	102,000
V 特別利益	0	0	0	0	0
VI 特別損失	0	0	0	0	0
税引前当期利益(税引前当期損失)	100,000	96,000	98,300	100,300	102,000
当期純利益(当期純損失)	70,000	67,200	68,810	70,210	71,400
前期繰越利益(前期繰越損失)	218,000	288,000	355,200	424,010	494,220
当期末処分利益(当期末処理損失)	288,000	355,200	424,010	494,220	565,620

資本的収支予算書

(単位：千円)

		初年度 H29年4月 ~H30年3月	次年度 H30年4月 ~H31年3月	3年度 H31年4月 ~H32年3月	4年度 H32年4月 ~H33年3月	5年度 H33年4月 ~H34年3月
資本的支出	建設改良費	240,000	0	0	0	0
	借入金(元本)償還	3,000	12,000	12,000	12,000	12,000
	固定資産購入費その他	20,000	0	0	0	20,000
	計	263,000	12,000	12,000	12,000	32,000
財源内訳	内部資金	23,000	12,000	12,000	12,000	32,000
	借入金	240,000	0	0	0	0
	補助金	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	計	263,000	12,000	12,000	12,000	32,000
財源不足額		0	0	0	0	0



周辺図

地

クサハイツ甲面

きもの工房・花ささぎ

容室

セファンマンション

聖法会本部

田中マンション

サンワイルテ荘

再城住宅

シークレア神戸
山の手野崎館

シークレア神戸
山の手野崎館

シークレア神戸
山の手野崎館

シークレア神戸
山の手野崎館

シークレア神戸
山の手野崎館

シークレア神戸
山の手野崎館

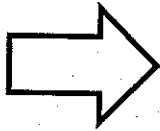
シークレア神戸
山の手野崎館

シークレア神戸
山の手野崎館

(参考) 変更前後病床構成一覽

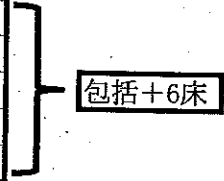
【変更前】

建物	階	病室	病床数		
			一般	包括	
本館	4階	401	1		
		402		4	
		403		4	
		405		4	
		406		4	
		407	1		
		3階	301	3	
		302	4		
		303	4		
		305		4	
		306	4		
		307	4		
	(本館計)			21	20
				41	
西館	3階	308		3	
		310		1	
	2階	201		8	
		202		1	
	(西館計)			0	13
			13		
病棟合計			21	33	
			54		



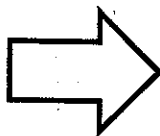
【変更後】

建物	階	病室	病床数		
			一般	包括	
本館	4階	401		1	
		402		4	
		403		4	
		405		4	
		406		4	
		407		1	
		3階	301	1	
		302	4		
		303	4		
		305		4	
		306	4		
		307	4		
	(本館計)			17	22
				39	
南館	4階	408		1	
		410		2	
		411		1	
		412		1	
		413		1	
		415		1	
	3階	308		3	
		310		1	
		311		1	
		312		1	
		313		1	
		315		1	
		316	1		
		317	1		
318	1				
320	1				
321		2			
(南館計)			4	17	
			21		
病棟合計			21	39	
			60		



変更対象

変更前	
一般	包括
5	9



変更後	
一般	包括
5	15

包括+6床